

「高分子論文集」75周年記念シンポジウム —ニューウェーブのその後の展開—

趣旨

「高分子論文集」は、1942年に発刊された「合成繊維研究」の継承誌であり、通算すると今年で75周年となります。高分子科学に関する専門誌としては、世界でも最も由緒ある論文誌のひとつです。今年の年次大会で第50号発刊記念シンポジウムが開催された *Macromolecules* 誌と比べても、四半世紀長い歴史を持っています。

その長い歴史の中で、1999年よりスタートした「高分子科学・工学のニューウェーブ」は、新進気鋭の研究者による総合論文の特集で、スタート時から現在まで好評を博しております。今回「高分子論文集」75周年を記念して、これまでの「ニューウェーブ」執筆者の方々に、執筆された研究分野における最近までの進歩、あるいはその当時のご研究と関連させながら最近の研究成果をご講演いただくシンポジウムを企画しました。それぞれの分野の研究の流れが一望できる格好の機会です。多数の方々のご来聴を歓迎します。

開催日：2017年9月21日（木）

開催場所：愛媛大学 共通講義棟 C 4F EL45

プログラム

10:40 開会の辞

10:50 「水に対して安定なルイス酸による水系でのカチオン重合」
佐藤 浩太郎（名大院工）



12:30 「pH 応答性ポリマーの展開」

遊佐 真一（兵庫県立大院工）



13:20 「ブラシ状高分子の溶液物性」

中村 洋（京大院工）



14:10 「ナノ薄膜上で情報変換デバイスを目指していたものが分子マシン操作へと発展」

有賀 克彦（物材機構・東大院新領域創成）



15:00 「ブロック共重合体リソグラフィ材料開発研究における最近の展開と今後の課題」

早川 晃鏡（東工大物質理工）



15:50 「高分子膜研究からソフトマテリアル研究へ～構造と機能との相関に基づく材料設計～」

宮田 隆志（関大工）



16:40 「二酸化炭素を反応場とする固体高分子電解質のイオニクス」

富永 洋一（東農工大）



17:30 閉会の辞

《2次元バーコードで Jstage の講演者の論文にアクセスできます》